

**家** は一生に一度の大きな買い物。だからこそ、性能はもちろんデザインや間取り、素材にいたるまでこだわりたいものです。今回は秋田県由利本荘市で人形劇団を主宰するご夫妻の家づくりをご紹介します。「一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会（新住協）」に加盟する西方設計と志村建設、地元2社のコラボレーションにより、秋田の自然条件に合った省エネな高性能住宅が実現しました。居住スペースに加え、製作や稽古が可能な人形劇スペースを備えたプランニングにも注目を。



Nishikata 西方設計 × Shimura 志村建設

秋田の気候風土を知り尽くした

# 「地元企業」とつくる家

## 人形劇団の稽古や製作もできる 明るく暖かい家を希望

10年前にご主人の地元である秋田県由利本荘市に帰郷し、ご夫妻二人で「人形劇団ハウス」を立ち上げたIさん。ご主人の実家で暮らしていましたが、数年前から新築を検討し始めました。お二人が望んだのは、「明るく冬暖かい家」、そして「人形劇のためのアトリエや稽古場を備えた家」。「実家は築40年以上なので暗くて寒くて…。それに物置を改装した天井の低い狭い空間で製作から稽古、事務などを全部行っていたので、それぞれ独立したスペースにしたいというのが希望でした」とご主人は語ります。

人形劇の公演で県北に向かうこともあるため、能代市を拠点とする西方設計のことは以前から知っていたというご夫妻。「西方さんのデザインに憧れはありましたが、我々の予算では難しいかなと…。それでも能代に出かけた際、ダメ元で西方さんの事務所に立ち寄り見てみました。希望や予算を伝えたところ、答えは予想に反して『できるよ』と。そこで依頼することを決めました」（ご主人）。

## 話し合いを重ねプランを具体化 気候風土に合った高性能な家へ

西方設計では、まずお二人からあらゆる要望を引き出すことからスタート。予算との兼ね合いでそのすべてを叶えるのは難しいため、「予算度外視ですべての希望を詰め込んだプラン」と「予算に合わせて不要なものを落とした現実的なプラン」の2種類を提示し、話し合いの中で落としどころを探っていったそうです。

西方設計の代表取締役、西方里見さんは、良質な住宅の普及を目指す技術開発団体「新

木造住宅技術研究協議会（新住協）」の理事を務めており、最新の住宅技術に関する知識の深さには定評があります。同社では、西方さんの深い知識をベースに、基礎と屋根をすっぽりと覆う断熱を採用。夏は暑く、冬は寒い秋田の気候風土を踏まえ、床下エアコン1台で冷暖房をまかなえる高断熱・高気密住宅を多く手がけています。その利点について西方さんは、「インシャルコストとランニングコストのバランスが良く、少ないエネルギーで快適な空間を実現できること。もちろん住宅の耐久性も高まります」と話してくれました。

由利本荘市は気候的には秋田県内でも一、二を争う生活しやすいエリアですが、それでも冬はそこそこ寒く、日本海から吹き込む風が強い土地柄。そのためIさん宅も高断熱・高気密を基本に、省エネで快適に過ごせる高性能設計が施されました。

プラン面においては、居住スペースと人形劇に関するスペースをどのように分け、配置するかが一番の腕の見せ所となりました。「ご夫妻二人なので生活の場はコンパクトに。また、縦長の土地を活かして人形劇のスペースをレイアウトしました。稽古場は天井を高く明るい空間に、ガレージは作業場や劇場も兼ねています」（西方さん）。

## 地元の秋田スギを豊富に使用 快適で心地よい住空間を形に

この西方設計のプランを形にしたのは、由利本荘市の工務店、志村建設。「新住協」の秋田支部長を務めており、このエリアでは西方設計が最も信頼を寄せられるパートナーの一つです。高性能住宅に関して高い意識を持つスタッフがいることで、自社大工を使って基礎工事から一貫して施工しています。「西方さんの設計する

家は、図面がしっかりしているので非常にやりやすいですね。断熱・気密の欠損がないように間違いない仕事をしました」と代表取締役の志村定弘さん。同社では、「秋田スギでつくる、高気密・高断熱そして手づくり百年住宅」を標榜しており、構造材や外装材に地元の秋田スギを使った家を得意としているのも特徴の一つ。Iさん宅でも床や柱、梁、さらには外壁にいたるまで秋田スギをふんだんに使用しました。「肌触りの柔らかさや優れた耐久力が秋田スギの魅力。地元の素材を使うことで、コストダウンにもつながっています。また、Iさん宅は長期優良住宅の認定に加え、地域型住宅グリーン化事業といった補助も活用し、さらなるコスト削減に努めました」（志村さん）。

## 家づくりの過程を楽しみながら 納得のいく住まいを実現

「考えるのは複雑に、仕上げは簡潔・簡素に」が私の目指す家づくり。Iさん宅は確かな技術力を持つ志村建設さんの力を得て、それが実現できました」と西方さん。その言葉に対し、「お施主様の要望を図面化できるプロ」設計事務所が入る意義は大きいと思います。全員がイメージをしっかりと共有できますから」と応じる志村さん。Iさんご夫妻も、「設計事務所にお願いしたことで、『こうしたい』という希望を叶えてもらえるだけでなく、プロ目線でそれ以上のアイデアを提案してもらえました。また、施工を地元の工務店にお願いしたことは、今後トラブルがあった際にもすぐに駆け付けてもらえる安心感があるので、正解だったと思います」とこころ。「新住協」ならではの性能の良さに裏打ちされた、快適な家。設計事務所、工務店、そして施工主それぞれにとって満足の家づくりができたようです。



- 右頁 外壁は贅沢な秋田スギ張り。グレーの色合いを醸し出す自然塗装を施しており、年を経るごとに風情が増すのも魅力
- 1 志村建設(株)代表取締役・志村定弘さん
  - 2 (有)西方設計代表取締役・西方里見さん
  - 3 手前からガレージ、稽古場、応接室、最奥に居住スペースを配置。「独創的な外観なのに、不思議と周囲と溶け込んでいるのが気に入っています」とさん

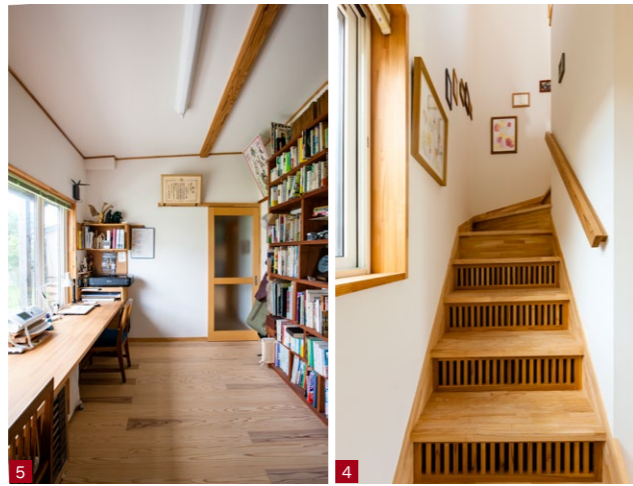
3

2

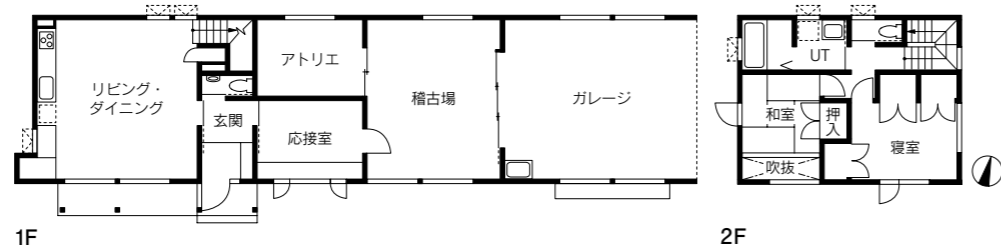
1

秋田の気候風土を知り尽くした  
**「地元企業」と、つくる家**

- 4. 床下エアコンからの送風を室内に取り込むため、階段の蹴上部分にも換気ガラリを設けた
- 5. 大きな窓から光が注ぐ応接室は、普段は事務室として使用。右手の本棚はご主人の自作だ
- 6. 2階和室から吹き抜けを通して1階を見下ろす。リビングの窓際にも通風のためのガラリが



由利本荘市・iさん宅  
 家族構成/夫婦50代  
 設計/(有)西方設計  
<http://nisikata.co.jp>  
 施工/志村建設(株)  
 由利本荘市中梵天68-1  
 ☎0184-22-3400  
<http://shimuken.net>  
 E-mail:shimu@eos.ocn.ne.jp



■建築データ  
 構造規模/木造(在来工法)・2階建て  
 延床面積/157.05㎡(約47坪)(ガレージ含む)  
 <主な外部仕上げ> 屋根/ガルバリウム鋼板、外壁/スギ板張、建具/玄関ドア:木製断熱ドア、窓:樹脂サッシ 一部アルミ樹脂サッシ  
 <主な内部仕上げ> 床/スギ無垢フローリング、壁/エコクロス、天井/エコクロス 一部スギ板張  
 <断熱仕様 充填断熱> 基礎/防蟻ビーズ法ポリスチレンフォーム特号50mm+50mm、床下/防蟻ビーズ法ポリスチレンフォーム特号50mm、壁/高性能グラスウール16kg120mm、屋根/高性能グラスウール16kg200mm  
 <暖房方式> エアコン(床下設置)

■工事期間  
 平成27年9月~12月(約4ヵ月)



- 1. リビングは秋田スギの無垢フローリングが上質感とぬくもりを演出
- 2. 和やかに家づくりを振り返る志村さん、西方さん、iさんご夫妻(右側より)
- 3. さまざまな施設を訪問して人形劇の公演を行い、子どもたちに夢を与えているお二人。人形や舞台もすべて手作りしているのだとか

**施主のことば**

性能、プランニングの両面でとても暮らしやすい住まいです。「理想のプラン」と「現実的なプラン」を検討し、西方さんには何度もプランを練り直してもらいました。おかげで後悔のない家になりました。春夏秋冬すべての季節をこの家で過ごしましたが、寒い、暑いと感じたことは特にないですね。冷暖房にほとんど頼らない生活ができています。これも断熱性・気密性がしっかりしているからこそ。西方さんの緻密な設計力、志村さんの正確な施工力のなせる業ですね。

気に入っているのは独立した稽古場。広くて天井も高く、稽古場からガレージに停めた車への荷物の積み込みもスムーズにできます。ガレージは劇場としても活用できるようになっており、去年はここに近所の人たちを招いて公演を行ったんですよ。好評だったのでまたやりたいですね。以前に比べると休日に出かけることが少なくなりました。家の掃除やDIYをして過ごすのが楽しいんです。私たちのライフスタイルを考えた家づくりを行ってくださった2社の皆さんに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。